

津波警報が変わります！

気象庁は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による津波被害が甚大だったことから、津波警報の改善に向けた検討を行い、**3月7日(木)**から改善した津波警報や津波情報の運用を開始します。主な内容は次のとおりです。

【予想される津波の高さ】

- マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における**最大級の津波を想定して**大津波警報や津波警報を発表します。このとき最初の津波警報では、予想される津波の高さを、「**巨大**」、「**高い**」という言葉で発表して、**非常事態**であることを伝えます。
- 正確な地震の規模が分かった場合は、予想される津波の高さを**5段階の数値**で発表します。
- 予想される津波の高さは、それぞれの発表基準の高い数値を発表します。

【津波観測に関する情報】

- 高い津波が来る前は、津波の高さを「**観測中**」として発表します。
- 沖合で観測された津波の情報をいち早く伝えます。

【問い合わせ】

高知地方気象台防災業務課

☎ 822-8882

津波から命を守るには

- ・強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら
- ・揺れがなくても、津波警報を見聞きしたら

▶▶▶▶▶ **すぐに避難！**

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。  (10mを超える津波により木造家屋が流失)
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	 津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」(気象庁)の1シーン	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。  豊頃町提供 (2003年)
津波注意報	1m (20cm<高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。 	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。 

- ・震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- ・津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、又は津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。